

どんなふうにか

## かなしむ



表現べんり帳

## はげしく

**嘆き悲しむ**

友人の死を嘆き悲しむ。

**悲痛** 母は悲痛な面持ち<sup>おももち</sup>で立ちつくしていた。**断腸の思い**彼女<sup>かのめ</sup>は断腸の思いで大切にしていた指輪を手放した。**悲嘆にくれる** 最愛の祖母を失い、私は悲嘆にくれた。**胸がつぶれる**悲惨<sup>ひつぱん</sup>な状況<sup>じょうきょう</sup>に、私は胸がつぶれそうになった。**胸が張り裂ける**

愛する人との別れの日を思うと、胸が張り裂けそうだ。

**胸がふさがる**幼い子どもたちが飢<sup>う</sup>えに苦しむ姿を見て胸がふさがった。**胸をしめつける**親を殺された子鹿<sup>こしか</sup>の悲しげな目が私の胸をしめつける。

## 静かに

**うれえる**

少年犯罪の増加をうれえる。

**切ない**

空港で母と別れたあと、切ない気持ちがこみ上げてきた。

**滅入**最近<sup>さいきん</sup>は失敗続きで、私はすっかり気が滅入<sup>めいじゆ</sup>っている。**やるせない**彼女<sup>かのめ</sup>に対する思いを断<sup>つ</sup>つことができず、やるせない気持ちだ。**傷心**失恋<sup>しよあい</sup>による傷心をいやす。**悲哀** 人生の悲哀を味わう。**悲愴**

兄が事情を話す姿には、悲愴感がただよっていた。

**沈痛**兄は沈痛な面持ち<sup>おももち</sup>で父の病状について話し始めた。

## なんとなく

**もの悲しい/うら悲しい**

もの悲しい/うら悲しい晩秋の風景。

**哀愁**

哀愁を帯びた美しいメロディが流れる。

**哀切**姉の弾<sup>ひ</sup>くピアノの音には独特の哀切なひびきがある。**感傷**彼女<sup>かのめ</sup>は窓の外をながめて一人で感傷に浸<sup>ひた</sup>っているようだ。かなしみが  
おもてにあらわれる**涙****泣き崩れる** 母は祖父が亡<sup>な</sup>くなったことを知って泣き崩れた。**泣きじゃくる** 迷子<sup>まご</sup>が泣きじやくつて親を探している。**嗚咽** 彼<sup>かれ</sup>の告別式ではいたるところで嗚咽が漏<sup>も</sup>れた。**号泣**

弟は愛犬の死に号泣した。

**すすり泣く** とりの部屋からすすり泣く声が聞こえる。**泣き濡れる** 妹は泣き濡れて、そのうち眠<sup>ね</sup>ってしまった。**涙にくれる** 家族とはなれて、涙にくれる日々を送る。**涙に沈む** 祖母を亡<sup>な</sup>くした祖父は涙に沈む毎日だ。**頬を濡らす** 振<sup>ふ</sup>り返ると姉は頬を濡らしていた。**態度****うなだれる** 友人に頼<sup>たの</sup>みのごとを断<sup>つ</sup>られ、兄はうなだれて帰ってきた。

うなだれる

